

能代産業廃棄物処理センター環境保全対策事業について

環境整備課

1 事業の目的

産廃特措法の「特定支障除去等事業実施計画」に基づき、国の財政支援を得ながら、汚水処理等の環境保全対策を引き続き実施するとともに、N o . 2 処分場に残存する廃油入りドラム缶の掘削撤去に向けたボーリング調査等を行う。

2 事業の概要

(1) 汚水処理等の維持管理 103,780 千円

汚水処理等の維持管理や施設の修繕などを行う。

- ・汚水処理
- ・揚水井戸の洗浄（6 か所）、汚泥処理 等

(2) 環境モニタリング 9,235 千円

周辺環境、揚水井戸、観測井戸、下水道放流水等の水質調査を実施する。

(3) 処分場掘削事業 38,973 千円

N o . 2 処分場の掘削撤去工事によりセンター内に保管している廃油入りドラム缶の処理を行うとともに、同処分場内に残存する廃油入りドラム缶の掘削撤去に向けたボーリング調査等を行う。

- ・処理するドラム缶の本数：199本
- ・ボーリング調査（10 か所）、掘削工事のための実施設計 等

(4) 事務費 1,800 千円

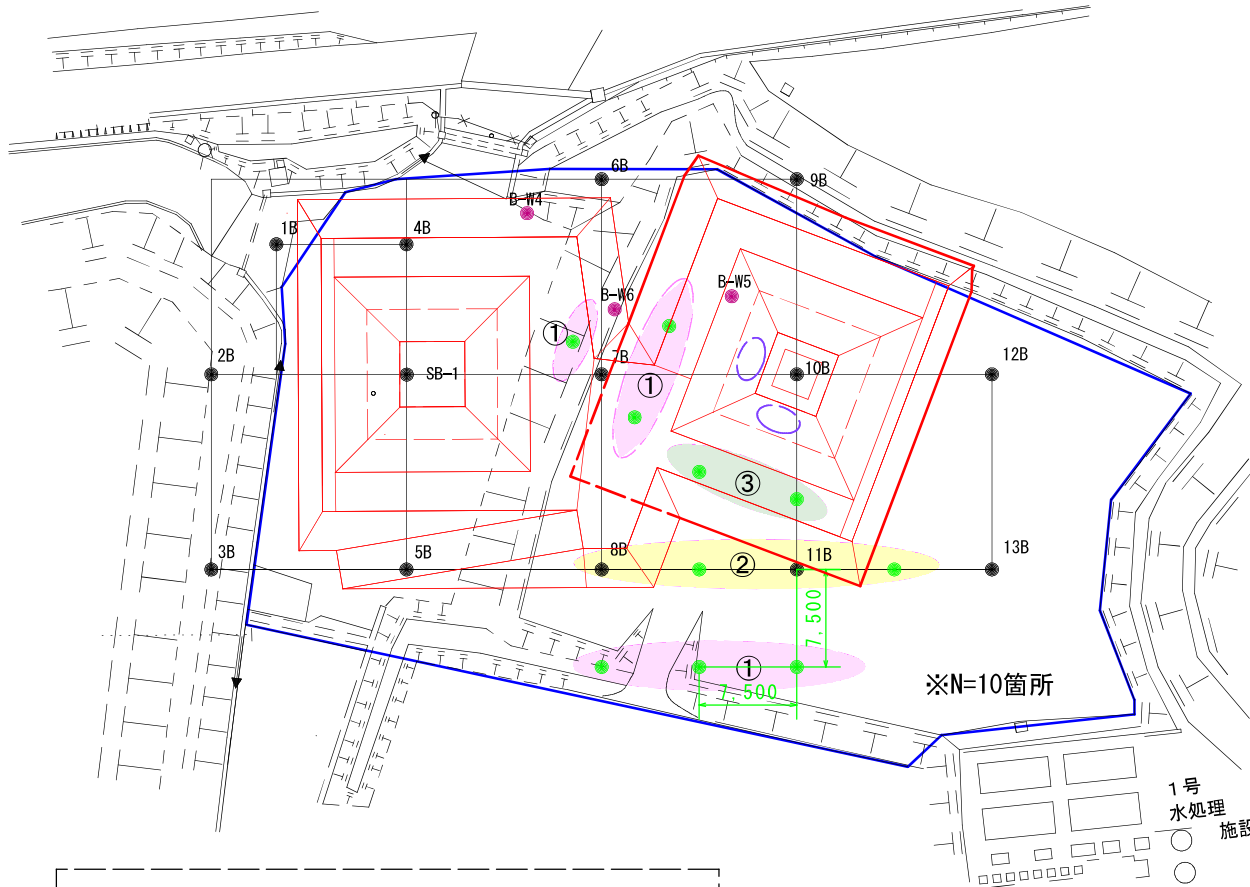
- ・環境保全対策部会運営費 等

3 予算額

153,788千円

No. 2処分場におけるボーリング調査の概要等

【ボーリング調査予定箇所】



【凡 例】

- : ボーリング予定箇所
- : 過去のボーリング箇所
- : 残存ドラム缶の位置
- ① : 第1調査範囲
- ② : 第2調査範囲
- ③ : 第3調査範囲

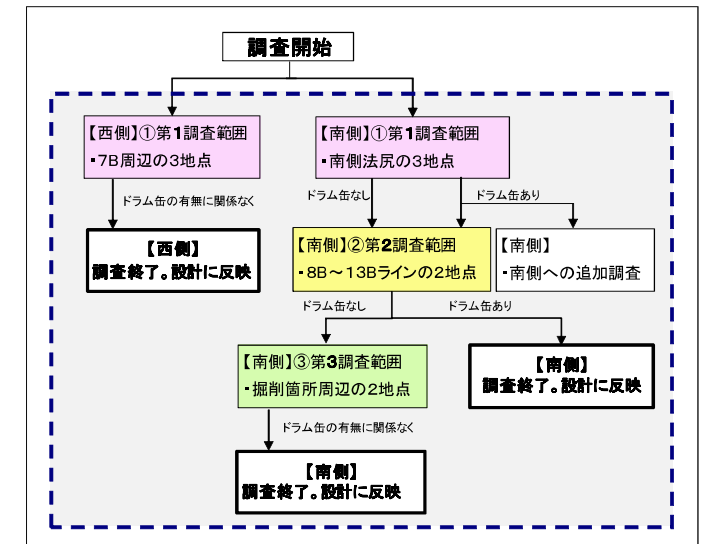
1 ボーリング調査の概要

- ・ボーリング箇所数：10箇所
- ・ボーリング調査位置：【ボーリング調査予定箇所】のとおり
- ・ボーリング深度：自然地盤が確認できる深さまで実施
- ・廃油入りドラム缶の有無確認のため、ボーリングコアを採取

※ ボーリングコア：ボーリングで得られた円柱状の試料

2 ボーリング調査の手順

- ・調査に当たっては、外側の第1調査範囲から始め、順次内側に向かって実施。



3 実施設計業務

- ・ボーリング調査の結果を整理し、解析等を行った上で、掘削工事のための実施設計も併せて行う予定。